

いつまでも安心して住み続けたい!



こんにちは

岸本のり子です

発行 日本共産党
大津湖西地区委員会
連絡先 岸本のり子
大津市和邇春日2丁目
ケイタイ08031163877

46

日本共産党

6月2日から18日までの日程で大津市議会が開かれています。11日に行われた一般質問で岸本のり子市議は大津北部の葛川から旧志賀町の小松に至るまで地域の切実な問題解決のため、精力的に質問に迫りました。

- ☆ 葛川の簡易水道廃止について
- ☆ 葛川の諸問題について
- ☆ 堅田駅西口土地区画整理に伴う諸問題について
- ☆ 動物保護管理センターについて(仰木の里)
- ☆ 木戸市民センター利用のあり方について
- ☆ 旧志賀町地域JR駅にエレベーターの設置を求めることについて
- ☆ 産業廃棄物対策について

葛川編

葛川の水は飲み続けたいおいしい水

今議会で葛川学区の簡易水道を廃止し、真野上水道に引き込む計画が出されています。

天津市に残された自然の水を観光などに生かすのも行政の仕事」と強調。

市は、安定給水のためには真野浄水場に引き込むことは不可欠と答弁

“限界集落”に関する言葉があつても、日々の暮らしを支える緊急の施策と、長期的な活性化施策が必要

人口減などで消滅の恐れのある集落として葛川の坊村町や中村町があげられています。



高齢化に加え、他の大津市内との格差があり、これからの生活に不安が一杯です。

防災…豪雨地震などで山の崩落や倒木など防災時の避難や安全の確保が必要。

日常生活…食料品の移動販売はタマのこと買物で堅田に行く往復のバス代が2千円。荷物が大変で夫婦で行くと4千円。タクシーなら片道6千円。

鳥獣害…急場をしのぐ野菜をつくっても鹿や猿に荒らされ、個人で防護柵は、電気柵のような補助の対象にならない。

岸本市議はこうした葛川の実態を訴え、国が地方を支援する地方の元気再生事業や、大津市都市計画マスタープランで示す、葛川地域振興など地域の活性化への努力を強く訴えました。さらに杉の木を利用した「バイオマスエネルギー」の活用を提案。

目片市長は大津市36学区すべて公正公平に取り組まなければならない。葛川だけに特別なことはできない」と答弁。そもそも根底にある地域間の格差についてどう考えているのでしょうか。

旧志賀町北部のJR駅にエレベーターの設置を求める請願署名…2100筆を超える!

請願代表人・田中未年子さんは、議会開会日の6月2日に旧志賀町北部を中心に集めた署名1570筆を大津市議会に提出されました。さらに6月11日には追加の署名を提出。6月12日に開かれる施設常任委員会で審議・採決。最終の本会議で全議員による採決となります。



協力いただきましたみなさんありがとうございました。